

## 長崎県内の将来人口推計（Ⅰ）

～ 2030年のすがた ～

## 【要 約】

- 2005年国勢調査結果を基に、コーホート要因法により長崎県と23市町・旧79市町村の2030年までの男女5歳階級別将来人口推計を行った。長崎県の総人口（中位推計結果、以下同じ）は、2015年に140万人を割り込み、2030年には115.3万人まで減少するとみられる。
- 年少人口（0～14歳）は2005年の21.6万人から2010年に20万人割れ、2030年には11.7万人にまで減少、この間構成比は14.6%から10.2%とほぼ10人に1人にまで低下。
- 生産年齢人口（15～64歳）は、2005年の91.4万人から、団塊世代が65歳以上に達する2015年には79.0万人、2030年には59.6万人にまで減少し、構成比は61.8%から51.7%とほぼ5割に低下。また、中高年層（40歳以上）のウエイトが高まり、生産年齢人口が高年齢化しつつ減少していくことを示している。
- 老年人口（65歳以上）は、2005年の34.9万人から団塊世代が65歳を超える2015年に40万人を突破、2025年に44.4万人に達し、2030年には43.9万人と減少に転じる。人口構成比は2005年の23.6%から2030年には38.1%まで上昇。また、後期高齢人口（75歳以上）の増加が目立ち、2010年には前期高齢人口（65～74歳）を上回り、ウエイトを高めていく。
- 自然動態（出生－死亡）は2000～2005年に年平均0.6千人のマイナスと自然減に転じ、今後マイナス幅が拡大。従来からの社会動態の減少とともに本格的な減少要因となってくる。
- 23市町の人口は、2005～2015年では大村市と時津町が増加し、21市町は減少する。減少率は諫早市、波佐見町など9市町が10%未満、10市町が10%台、20%台が2町。2005～2030年では、大村市と時津町が増加、その他は減少率10%台が諫早市など4市町、20%台が9市町、30%以上が8市町。
- 旧79市町村の2005～2015年の人口は、増加が愛野町、大村市など4市町にとどまり、減少率10%未満が27市町、10%台が30市町、20%以上が18町村。2005～2030年では愛野町、大村市、時津町が増加、そのほかは減少率10%未満が2市町、10%台が11町、20%台が18市町、30%以上が45町村。
- 4都市圏を比較すると、長崎、佐世保、島原の3都市圏は2005～2030年の減少率が20%強なのに対し、大村市など人口増加市町を抱える県央都市圏は5.7%の減少にとどまっており、2030年には県央都市圏が佐世保都市圏とほぼ肩を並べる。

## 【目次】

1. 将来人口推計の基本的な考え方
2. 県内将来人口の推計結果
3. 自然動態・社会動態別増減
4. 市町別の人口推計結果
5. 都市圏別の人口推計結果

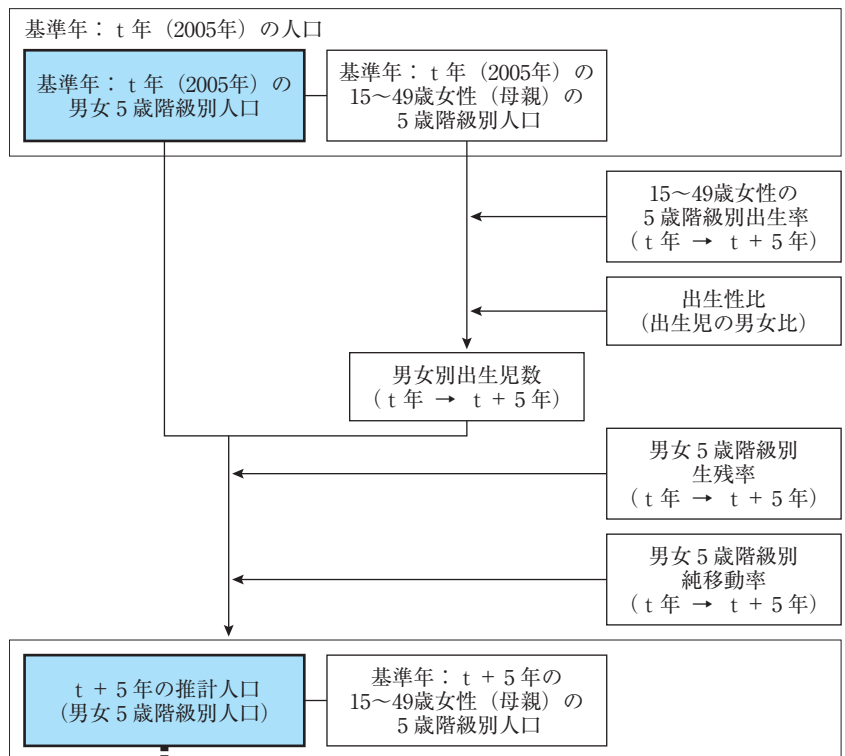
国はもちろん地域にとっても経済・社会のあり方を考える上で最も基本的なデータは人口構造の見通し、すなわち将来の人口構成・出生・死亡・人口移動などがどのような推移を辿るのかということであろう。日本の人口は2005年から減少過程に入っており、国立社会保障・人口問題研究所の2006年12月推計（中位推計）では2030年に2005年比約10%、1,254万人が減少するとされている。

それでは、すでに人口減少過程入りして久しく、超高齢社会に足を踏み入れている長崎県内についてはどのような推移が予測されるだろうか。そこで、当社では2005年国勢調査結果を基に、2030年まで長崎県および県内市町の将来人口推計を行った。本稿ではまず推計結果の概要を紹介することとし、今回はこの結果を踏まえた地域経済社会への影響等をレポートする。

## 1. 将来人口推計の基本的な考え方

本将来人口推計は、これまでと同様にコーホート要因法を用いて実施した。この手法はコーホート（同時期出生集団、今回の推計では男女5歳階級別人口）毎の5年間の出生率、生残率、純移動率を設定して、5年後のコーホート人口を算出するという作業を繰り返し行うものである。今回の推計は長崎県全体、県内23市町および旧79市町村について行った。

図表1 コーホート要因法による将来人口推計のフロー



以下、同様の推計を2030年まで繰り返す。

## (1) 前提となるデータ

コーホート要因法による将来人口推計では、「基準人口」、「将来の出生率」、「将来の出生性比」、「将来の生残率」、「将来の純移動率」という5つのデータを用いる。

### ①基準人口

推計の出発点となる基準人口として、「国勢調査報告」（総務省）の2005年10月1日現在の男女5歳階級別人口（総人口）を用いた。ただし、年齢「不詳」の人口については、補正係数（男女別総人口／年齢不詳を除く男女別総人口）を算出し、それに基づき各コーホートに振り分けた。

### ②出生率

将来の出生数（各年次における15～49歳の女性が生む子供の数の合計）を推計するには将来の女子年齢別出生率が必要となる。本推計における出生率の仮定値は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」（2006年12月推計）における全国の女子年齢別出生率の将来推計値（高位、中位、低位）に、本県および17市郡と全国の出生率（過去5年の平均）の乖離率を乗じて設定した。79市町村については17市郡の出生率をそれぞれ適用した。

（注）合計特殊出生率は、ある年次における15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計した数値。想定される生涯の平均出生児数に相当する。

図表2 合計特殊出生率の仮定値

2005～2010年の女性年齢層別出生率（年平均、中位推計）

期 間	全 国			長 崎 県		
	高位	中位	低位	高位	中位	低位
2000～05年	1.3085（実績）			1.5025（実績）		
2005～10年	1.2943	1.2395	1.1706	1.4842	1.4198	1.3409
2010～15年	1.3659	1.2179	1.0611	1.5669	1.3934	1.2142
2015～20年	1.4409	1.2230	1.0420	1.6514	1.3979	1.1914
2020～25年	1.4965	1.2311	1.0413	1.7124	1.4065	1.1898
2025～30年	1.5207	1.2359	1.0391	1.7388	1.4118	1.1875
合計特殊出生率	1.2395			1.4198		

資料：厚生労働省「2005年人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2006年12月推計）」、長崎県「衛生統計年報（人口動態編）」、「推計人口」から当社で算出。

### ③出生性比

出生性比（男児出生数／女児出生数×100）については、2000～2005年までの全国の実績に基づき、女子100に対して男子105.5とし、将来にわたって一定であると仮定した。

### ④生残率

本推計における生残率（男女5歳階級別生残率）とは、基準年次における人口が5年後に生残する確率（たとえば5～9歳の人口が5年後に10～14歳になる確率）であり、「生命表」（厚生労働省）から算出される。従来は全国の「生命表」から算出した全国生残率を本県にも適用していたが、今回は長崎県および17市郡別に算出し地域性を反映できるようにした。具体的には「県別生命表」・「市町村別生命表」（いずれも2000年基準）を基に2000年の全国生残率との男女5歳階級別の乖離率を算出し、その乖離率を「日本の将来人口推計」（前出）の将来生残率に乗じて長崎県・17市郡別に算出した。

### ⑤純移動率

純移動率は、ある地域の転入超過数が地域人口に占める割合を示したものの。本推計では、2000～2005年の期間について、コーホート（男女5歳階級別人口）毎に、旧79市町村の純移動率を求め（人口増減率－生残率）、以後一定であると仮定した。

### （2）推計に当たって

上記①～⑤のデータを使って、長崎県と旧79市町村別の5年毎の将来人口推計を2030年まで行った。なお、推計は男女5歳階級別とし、出生率の高位、中位、低位にしたがって3つのパターン（高位推計、中位推計、低位推計）で行った。

なお、県単位での推計値と各市町村毎の推計値の合計とでは幾分乖離が生じるため、本推計では長崎県全体の人口には県単位推計値を採用し、市町村毎の推計値はその合計値が県単位推計値に一致するよう一括補正した。

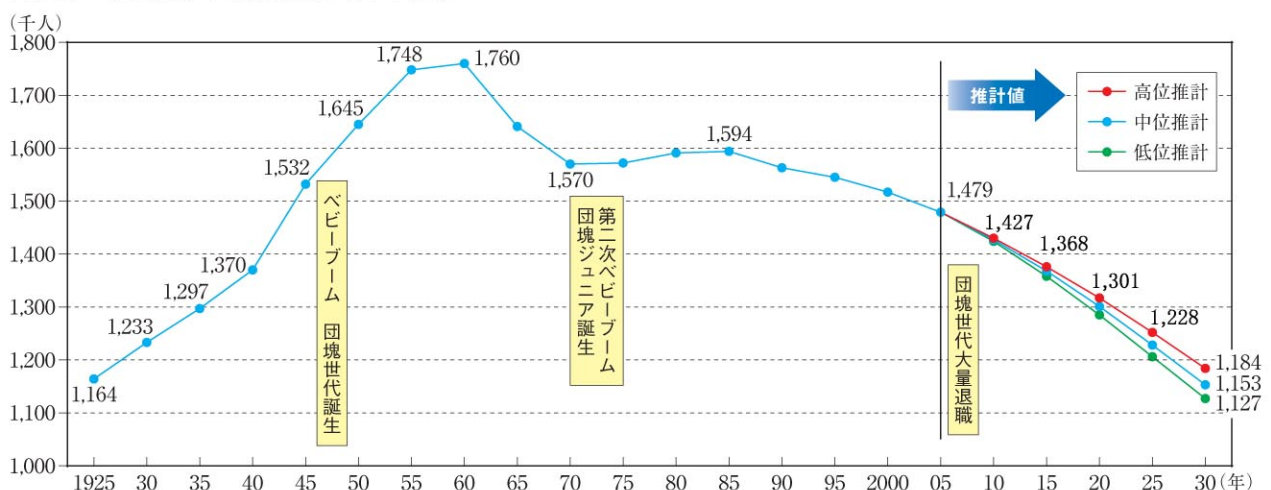
また、長与町と佐々町については、推計の基準となる2000～2005年の人口推移では人口増加となっているものの直近では人口減少に転じているため、その状況を反映できるように2005～2006年の純移動率を適用した。旧・外海町については、2001年11月の池島炭鉱閉山後、急激な人口流出がみられたため、閉山から2002年5月末までの人口減少数を特殊要因として調整したうえで推計を行った。

## 2. 県内将来人口の推計結果

### （1）総人口の推移 — 2030年の総人口、1925年の水準まで減少 —

本県の人口は1960年（176.0万人）にピークを記録したあと、大都市部への人口流出による人口

図表3 長崎県の将来推計人口の推移



(注) 2010年～25年の実数は中位推計値。

減少を経て、1970年代には第二次ベビーブームもあって増加に転じたが、1985年を境に一貫した減少傾向が続いている。2005年国勢調査によると、長崎県の総人口は147.9万人とピーク比約28万人（16.0%）減少、2000年比でも約3.8万人（2.5%）の減少となっており、減少のペースは1995～2000年（1.8%）よりも速まっている。

それでは、今後の長崎県の人口はどのように推移していくのだろうか。まず、中位推計（標準的な出生率で推計）の結果をみると、今後、人口減少スピードはさらに加速され2015年の総人口は140万人を割り込み、2030年には115.3万人まで減少するとみられる。これは1925年（116.4万人）とほぼ同水準の人口規模である。

また、出生率の仮定値を楽観的（高め）にみた高位推計でも、2030年には118.4万人、一方、最も悲観的（低め）にみた低位推計では2020年には130万人を割り込み、2030年には112.7万人まで減少するとみられる。

以下では、2030年までを展望した県内将来推計人口のすがたを中位推計結果から、年齢層別、自然動態・社会動態別、市町・都市圏別に紹介していく。

## （2）年齢層別人口の推移 — 生産年齢人口が高年齢化しつつ減少 —

次に、将来推計人口（中位推計）を年少人口、生産年齢人口、老年人口の3つの年齢層別にみていこう。

### ①年少人口

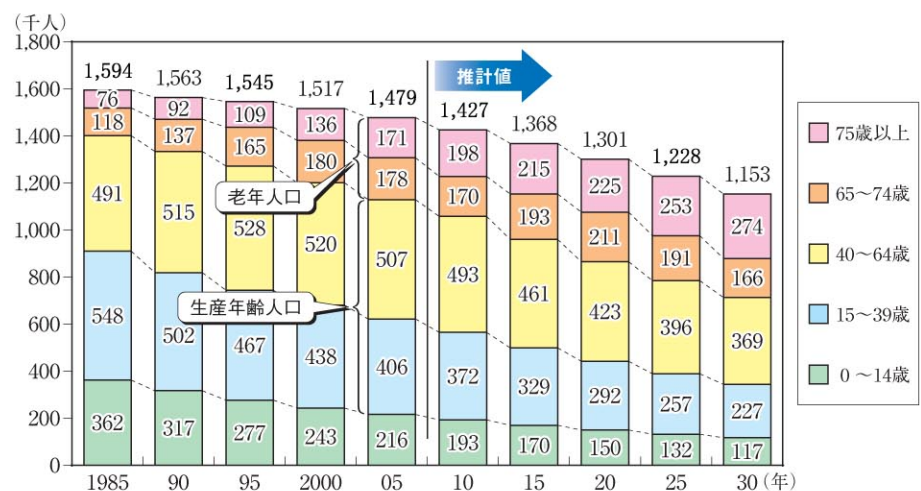
年少人口（0～14歳）はピークの1960年には63.9万人に上ったが、2005年には21.6万人と3分の1にまで減少している。今後も減少傾向は続き、2010年には20万人割れ、2030年には11.7万人にまで減少するものと予測される。

### ②生産年齢人口

生産年齢人口（15～64歳）は、1985年の103.8万人をピークに2005年には91.4万人まで減少。今後は団塊世代が65歳以上に達する2015年には79.0万人と80万人を割り込み、2030年には59.6万人にまで減少するものとみられる。

生産年齢人口を若年層

図表4 長崎県の年齢層別人口の予測（中位推計、以下の図表も同様）



（15～39歳）と中高年層（40～64歳）に分けてみると、1990年に中高年層（51.5万人）が若年層（50.2万人）を逆転して以降、その差は拡大を続けている。中高年層は1995年の52.8万人をピークに以後減少局面に入っており、2010年には50万人、2025年には40万人を割り込む。一方、若年層は既に1960年から減少局面入りしており、2010年には40万人を、2020年には30万人を割り込む。生産年齢人口のなかでも、今後は中高年層が概ね6割を占めるようになり、生産年齢人口が高年齢化しつつ減少していくことがわかる。

### ③ 老年人口

年少人口と生産年齢人口が減少傾向を辿る一方、老年人口（65歳以上）は一貫して増加し、そのスピードも1990年に20万人を、2000年に30万人を突破するといった急速なものとなっている。今後は、団塊世代が65歳を超える2015年に40万人を突破、その後は2025年に44.4万人まで増加したあと、2030年には43.9万人と減少に転じるとみられる。

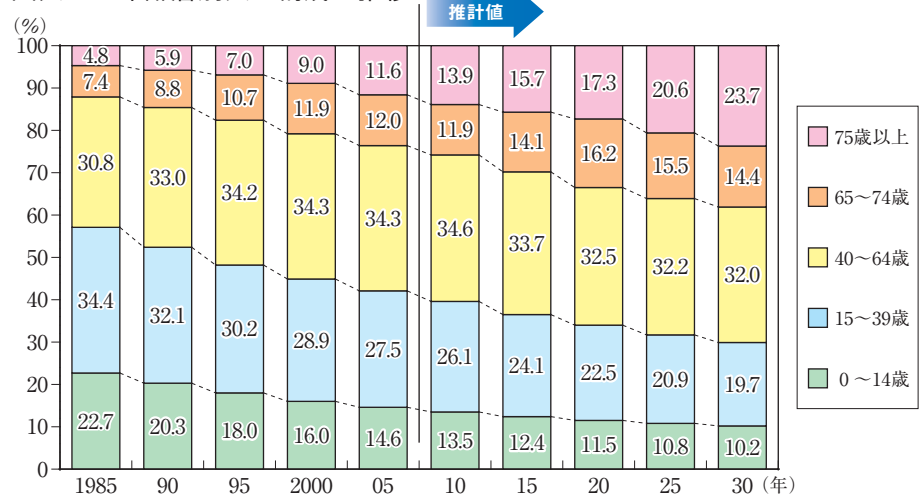
なお、老年人口の内訳をみると、後期高齢人口（75歳以上）の増加が目立ち、2010年には前期高齢人口（65～74歳）を上回り、そのウエイトを高めていくことが見込まれる。

### （3）年齢層別人口の構成比 — 総人口の3分の1以上が65歳以上となる見通し —

次に、これら年齢層別人口の総人口に対する割合がどのように変化するかみていこう。

まず、年少人口についてみると、1955年の37.0%をピークにその後は低下の一途を辿り、2005年には14.6%となっている。今後は低下幅が縮小するものの、2030年には10.2%とほぼ10人に1人にまでウエイトが低下していくものとみられる。

図表5 年齢層別人口構成の推移



また、生産年齢人口については、2005年は61.8%と1965年以降60%台を維持しつつも1985年の65.2%をピークに徐々に低下してきており、2015年には60%割れ、2030年には51.7%まで低下する見込みである。このうち、中高年層は2005年の34.3%から2030年に32.0%と小幅な変動にとどまっているのに対し、若年層は27.5%から19.7%へと大幅な低下が見込まれる。

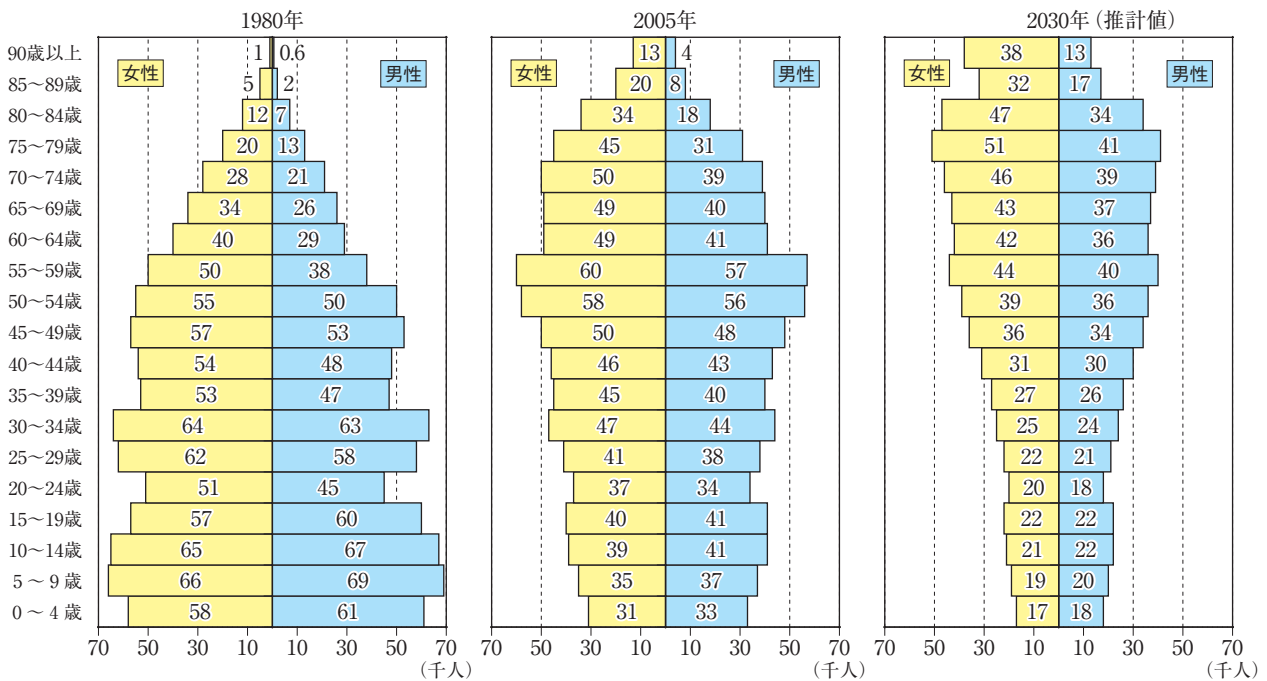
一方、上昇傾向にある老年人口をみると、2005年は23.6%と約4分の1を占めるに至っている。さらに、今後は2020年に33.5%と3分の1に達し、2030年には38.1%にまで高まるとみられる。な

かでも75歳以上（後期高齢人口）は2005年の11.6%から30年には23.7%と約4人に1人の割合まで増加するとみられる。

#### （４）人口ピラミッドの変化 — 釣鐘型から壺型へ —

長崎県の男女5歳階級別人口を2005年現在とその25年前の1980年、25年後の2030年（中位推計）についてグラフ化してみると、人口構成の変遷がよく分かる。

図表6 人口ピラミッドの変遷



まず、1980年をみると、団塊世代（30～34歳）と団塊ジュニア（5～9歳）の2つの山があり、全体としては年少人口が多く山型から釣鐘型への移行過程となっていた。これが2005年になると、大きな山は団塊世代（55～59歳）とその下の50～54歳だけとなり、年齢が若くなるほど人口は少なく、すでに釣鐘型から安定感に乏しい壺型へ移行しつつあることが分かる。さらに、2030年になると、団塊世代の下世代である75～79歳を山として若いほど人口が少ない完全な壺型になるものとみられる。

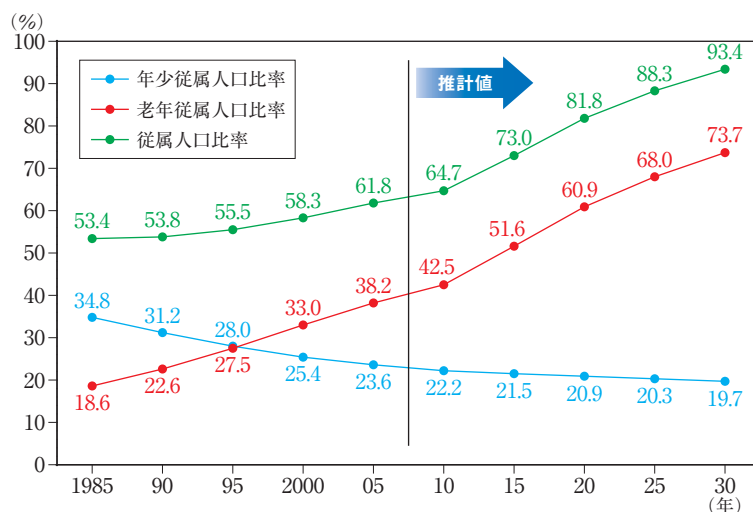
#### （５）従属人口比率の変化 — 働き手の扶養負担は増加 —

従属人口比率（生産年齢人口に対する年少・老年人口の比率）は、生産年齢人口の扶養負担の程度を表す指標である。中位推計に基づく年少従属人口比率（年少人口／生産年齢人口）は、2005年の23.6%（働き手4.2人で年少者1人を扶養）から、2030年には19.7%（5.1人で1人）まで緩やかに低下する（年少人口が生産年齢人口以上に減少するため）。一方、老年従属人口比率（老年

人口／生産年齢人口）は、2005年の38.2%（働き手2.6人で高齢者1人を扶養）から2030年には73.7%（1.4人で1人を扶養）へと急激に上昇するものと予測される。

この結果、年少人口と老年人口を合わせた従属人口比率は、2005年の61.8%から2030年には93.4%と働き手ほぼ1人で被扶養者1人を扶養する状況に至るものと予測される。

図表7 従属人口比率の推移

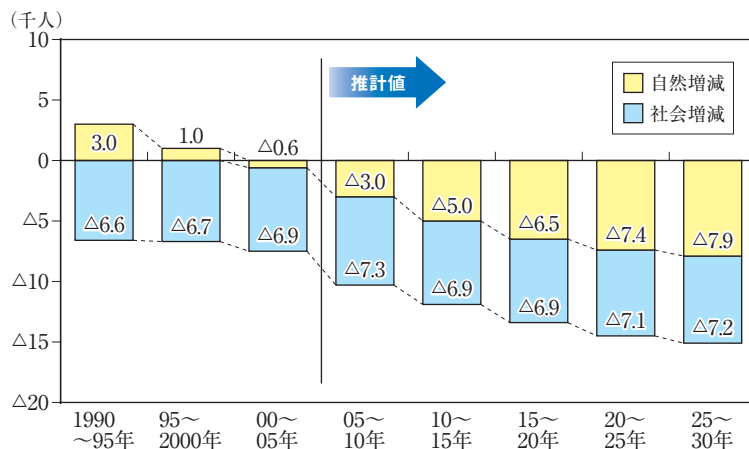


### 3. 自然動態・社会動態別増減 — 拡大する自然減 —

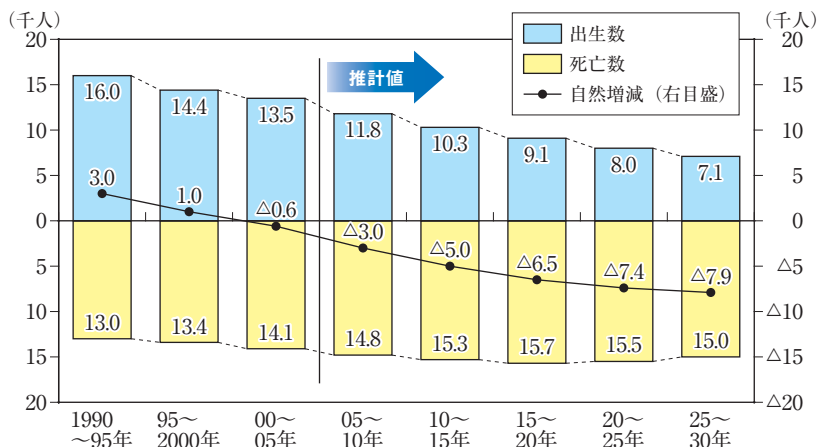
次に、人口増減の要因を自然動態（出生－死亡）と社会動態（転入－転出）に分解してみよう。

社会動態が2000～2005年の年平均で6.9千人のマイナス、その後も7千人程度で推移するとみられる一方、自然動態は1995～2000年の年平均ではプラス1.0千人（出生数14.4千人、死亡数13.4千人）だったものが、2000～2005年には0.6千人のマイナスに転じ、今後（中位推計）は2005～2010年に△3.0千人、2025～2030年には△7.9千人に拡大するとみられる。これは、出生率の低迷により出生数が減少するなか、高齢者の増加により死亡者数が増加することを意味しており、従来からの社会減とともに、自然減が本格的な減少要因となっていくことを示している。

図表8 人口動態の予測（各期間の年平均自然増減・社会増減）



図表9 自然動態の予測（各期間の年平均出生数・死亡数と自然増減）





出生数に関しては、今後、出産年齢女性人口（15～49歳）が2005年の30.5万人から2030年には18.3万人へと40.1%も減少することを考慮すると、出生率が若干上昇しても出生数の大幅減少は避けられないことが分かる。一方、死亡数については2015～2020年まで微増傾向を辿り、その後緩やかな減少傾向に転じるとみられる。

なお、県内総人口が自然動態・社会動態ともに減少となっていくなかで、地域によっては増加を維持するところもある。旧79市町村基準でみると、自然増は2005～2010年には時津町、大村市など6市町あり、その後2020～2025年にはゼロとなる。また、社会増は2005～2010年には大村市、愛野町など6市町あり、その後は2020～2025年に3市町へと減少する。また、自然動態・社会動態ともに増加となる市町は、2015年までは時津町と大村市、2015～2020年は時津町のみとみられる。

図表10 出産年齢女性人口の予測

年	出産年齢女性人口（15～49歳） (人、%)			
	20～39歳		20～39歳	
	伸び率	伸び率	伸び率	伸び率
2005年	305,189	-	168,840	-
2010年	279,651	△ 8.4	155,589	△ 7.8
2015年	257,149	△ 8.0	136,211	△ 12.5
2020年	234,095	△ 9.0	120,639	△ 11.4
2025年	206,406	△ 11.8	106,125	△ 12.0
2030年	182,764	△ 11.5	94,004	△ 11.4
30年/05年		△ 40.1		△ 44.3

図表11 自然増、社会増の市町（旧79市町村基準）

項目	2005～10年	10～15年	15～20年	20～25年	25～30年
自然増	6	4	1	0	0
	時津町 大村市 長与町 佐々町 諫早市 多良見町	時津町 大村市 長与町 佐々町	時津町		
社会増	6	5	4	3	3
	大村市 愛野町 深江町 時津町 三和町 世知原町	大村市 愛野町 深江町 時津町 三和町	大村市 愛野町 深江町 時津町	大村市 愛野町 深江町	大村市 愛野町 深江町

## 4. 市町別の人口推計結果

### (1) 23市町の見通し - 増加は2市町のみ -

次に、今回の人口推計結果（中位推計）を、現在の23市町ベースでみると、2005～2015年では大村市と時津町という、交通アクセスがよく企業誘致、雇用面でも優位性のある地域が増加し、

図表12 23市町の人口増減見通し

(市町、%)

2005～2015年					2005～2030年										
増減	市町数と内訳				増減	市町数と内訳									
増加	2	大村市	5.8	時津町	5.5	増加	2	大村市	8.8	時津町	5.2				
減少	21					減少	21								
10%未満	9	諫早市	△ 2.6	佐世保市	△ 6.1	長崎市	△ 8.2	10%台	4	諫早市	△ 11.8	川棚町	△ 17.3		
		波佐見町	△ 3.5	長与町	△ 7.1	東彼杵町	△ 8.8			波佐見町	△ 13.3	佐世保市	△ 19.8		
		川棚町	△ 4.7	鹿町町	△ 7.3	島原市	△ 8.9			長与町	△ 21.7	東彼杵町	△ 24.7	佐々町	△ 27.4
10%台	10	佐々町	△ 10.0	南島原市	△ 12.0	五島市	△ 17.0	20%台	9	鹿町町	△ 23.5	島原市	△ 26.0	西海市	△ 28.1
		雲仙市	△ 10.2	壱岐市	△ 14.2	平戸市	△ 17.1			長崎市	△ 24.1	雲仙市	△ 26.6	松浦市	△ 29.5
		西海市	△ 11.0	江迎町	△ 14.8					南島原市	△ 31.1	対馬市	△ 38.8	新上五島町	△ 46.4
20%台	2	新上五島町	△ 20.1	小値賀町	△ 26.3			30%以上	8	壱岐市	△ 36.1	平戸市	△ 40.3	小値賀町	△ 56.3
						江迎町	△ 36.8			五島市	△ 40.8				

その他の21市町は減少するとみられる。減少率は諫早市、波佐見町など9市町が10%未満、佐々町、雲仙市など10市町が10%台となっている。2005～2030年についても、大村市と時津町が増加し、21市町が減少するのは変わらない。もっとも減少率が10%未満の市町はなく、諫早市、波佐見町、川棚町、佐世保市が10%台、長与町、鹿町町、長崎市など9市町が20%台、その他8市町が30%以上となっている。

なお、長崎・佐世保両市に隣接した長与町や佐々町では、宅地供給が進みベッドタウン化や大学開設などもあって人口流入が続いていたが、ここに来て流入が一巡し、折からの人口の都心回帰もあって、社会動態が2004年度ごろから減少に転じてきており、今後、人口減少傾向を辿るとみられる。

### 旧79市町村では — 増加は3市町 —

旧79市町村別にみると、2005～2015年の10年間の人口増減率をみると、人口が増加すると予測されるのは愛野町、大村市、時津町、深江町の4市町である。残る75市町村については、減少率10%未満27市町、10%台30市町、20%以上18町村となっている。

さらに、2005～2030年についてみると、人口が増加するのは3市町（愛野町、大村市、時津町）

図表13 旧79市町村の人口増減見通し

(市町、%)

2005～2015年					2005～2030年								
増減	市町村数と内訳				増減	市町村数と内訳							
増加	4	愛野町 11.1	時津町 5.5		増加	3	愛野町 20.3	時津町 5.2					
		大村市 5.8	深江町 1.4				大村市 8.8						
減少	75				減少	76							
10%未満	27	諫早市 △ 1.2	三和町 △ 5.5	国見町 △ 7.6	10%未満	2	深江町 △ 2.8	諫早市 △ 8.8					
		多良見町 △ 1.8	佐世保市 △ 5.6	長崎市 △ 7.7			10%台	11	多良見町 △ 11.3	吉井町 △ 15.6	三和町 △ 18.5		
		波佐見町 △ 3.5	西彼町 △ 5.6	瑞穂町 △ 8.3					波佐見町 △ 13.3	川棚町 △ 17.3	佐世保市 △ 18.9		
		吉井町 △ 4.3	石田町 △ 6.5	東彼杵町 △ 8.8					飯盛町 △ 14.2	西彼町 △ 17.4	高来町 △ 19.4		
		飯盛町 △ 4.6	有明町 △ 6.7	松浦市 △ 9.5					大島町 △ 15.2	琴海町 △ 17.7			
		川棚町 △ 4.7	高来町 △ 7.0	島原市 △ 9.6					20%台	18	有明町 △ 20.4	瑞穂町 △ 24.1	森山町 △ 27.1
		大島町 △ 4.8	長与町 △ 7.1	有家町 △ 9.9							美津島町 △ 20.7	世知原町 △ 24.4	佐々町 △ 27.4
		琴海町 △ 5.1	世知原町 △ 7.2	森山町 △ 10.0							長与町 △ 21.7	石田町 △ 24.5	小長井町 △ 27.5
		美津島町 △ 5.4	鹿町町 △ 7.3	小佐々町 △ 10.0					国見町 △ 21.9	東彼杵町 △ 24.7	小佐々町 △ 27.7		
10%台	30	佐々町 △ 10.0	布津町 △ 14.1	新魚目町 △ 16.0	30%台	15	吾妻町 △ 30.7	福江市 △ 33.3	江迎町 △ 36.8				
		西海町 △ 10.3	加津佐町 △ 14.2	厳原町 △ 16.6			田平町 △ 31.1	布津町 △ 34.3	千々石町 △ 36.8				
		小長井町 △ 10.4	上五島町 △ 14.6	外海町 △ 16.6			福島町 △ 32.5	西有家町 △ 34.3	平戸市 △ 37.0				
		吾妻町 △ 11.7	南串山町 △ 14.8	南有馬町 △ 18.2			郷ノ浦町 △ 32.9	南串山町 △ 35.7	加津佐町 △ 37.2				
		田平町 △ 11.9	江迎町 △ 14.8	芦辺町 △ 18.2			北有馬町 △ 33.2	上五島町 △ 36.4	勝本町 △ 39.3				
		福江市 △ 12.5	平戸市 △ 15.2	岐宿町 △ 18.3			40%台	15	外海町 △ 40.0	岐宿町 △ 42.9	口之津町 △ 46.6		
		北有馬町 △ 12.8	千々石町 △ 15.2	小浜町 △ 18.7					新魚目町 △ 40.3	小浜町 △ 43.9	大瀬戸町 △ 46.7		
		福島町 △ 13.1	上対馬町 △ 15.2	上県町 △ 19.0					厳原町 △ 40.8	南有馬町 △ 44.5	富江町 △ 47.7		
		郷ノ浦町 △ 13.5	勝本町 △ 16.0	口之津町 △ 19.2			香焼町 △ 40.8	芦辺町 △ 44.6	豊玉町 △ 47.9				
西有家町 △ 13.8	香焼町 △ 16.0	豊玉町 △ 19.9	上対馬町 △ 41.8	上県町 △ 46.3	有川町 △ 49.0								
20%台	13	大瀬戸町 △ 20.2	崎戸町 △ 24.4	奈留町 △ 27.9	50%以上	15	崎戸町 △ 50.3	小値賀町 △ 56.3	野母崎町 △ 62.5				
		峰町 △ 20.9	玉之浦町 △ 25.3	三井楽町 △ 28.3			峰町 △ 52.7	奈良尾町 △ 56.8	大島村 △ 65.6				
		富江町 △ 21.0	生月町 △ 25.4	若松町 △ 28.7			鷹島町 △ 54.4	奈留町 △ 58.6	高島町 △ 65.7				
有川町 △ 21.1	小値賀町 △ 26.3		玉之浦町 △ 54.7	三井楽町 △ 59.4	宇久町 △ 69.9								
鷹島町 △ 23.5	奈良尾町 △ 26.8		生月町 △ 55.4	若松町 △ 59.9	伊王島町 △ 71.6								
30%台	5	野母崎町 △ 31.2	高島町 △ 35.6	伊王島町 △ 38.5									
		大島村 △ 32.4	宇久町 △ 36.6										

にとどまり、そのほかは減少率10%未満2市町、10%台11町、20%台18市町、30%・40%台30市町、50%以上15町村となっている。

## (2) 23市町の人口規模・構成比 — 高まる県央地区のウエイト —

人口規模を新市町ベースで見ると、2005年の順位1～7位までは2015年、2030年も変わらないが、8位以下は変動することが見込まれる。2030年までを展望すると、五島市、対馬市、平戸市、壱岐市が順位を下げ、長与町、時津町、西海市が上げる見込み。

また、構成比をみると、2005年と2030年ではトップの長崎市が30.8%から30.0%に低下、逆に佐世保市が17.5%から18.0%、諫早市が9.7%から11.0%に、大村市が6.0%から8.3%に上昇するなど、県央地区のウエイトが高まっていくことを示している。

図表14 人口規模の順位

順位	2005年			2015年			2030年		
	市町名	人口	構成比	市町名	人口	構成比	市町名	人口	構成比
1	長崎市	455,206	30.8	長崎市	418,090	30.6	長崎市	345,719	30.0
2	佐世保市	258,262	17.5	佐世保市	242,516	17.7	佐世保市	207,057	18.0
3	諫早市	144,034	9.7	諫早市	140,222	10.3	諫早市	127,068	11.0
4	大村市	88,040	6.0	大村市	93,184	6.8	大村市	95,800	8.3
5	南島原市	54,045	3.7	南島原市	47,572	3.5	南島原市	37,253	3.2
6	島原市	50,045	3.4	島原市	45,586	3.3	島原市	37,028	3.2
7	雲仙市	49,998	3.4	雲仙市	44,922	3.3	雲仙市	36,699	3.2
8	五島市	44,765	3.0	長与町	39,636	2.9	長与町	33,418	2.9
9	長与町	42,655	2.9	五島市	37,136	2.7	時津町	30,634	2.7
10	対馬市	38,481	2.6	対馬市	32,726	2.4	五島市	26,498	2.3
11	平戸市	38,389	2.6	平戸市	31,836	2.3	西海市	24,205	2.1
12	西海市	33,680	2.3	時津町	30,734	2.2	対馬市	23,546	2.0
13	壱岐市	31,414	2.1	西海市	29,983	2.2	平戸市	22,900	2.0
14	時津町	29,127	2.0	壱岐市	26,940	2.0	壱岐市	20,059	1.7
15	松浦市	26,993	1.8	松浦市	23,951	1.8	松浦市	19,028	1.7
16	新上五島町	25,039	1.7	新上五島町	19,994	1.5	新上五島町	13,414	1.2

## 5. 都市圏別の人口推計結果

次に、人口推計結果を4つの都市圏（長崎、佐世保、県央、島原）についてみておこう。

\* 4都市圏設定に当たっては、中心都市を長崎市、佐世保市、諫早・大村両市、島原市の4地域とし、都市圏の範囲は新行政単位を基本に、2005年国勢調査における中心都市への通勤・通学依存度が10%以上の自治体を圏域に加えた。ただし、旧市町村の状況も反映させるため、通勤・通学依存度データが得られる2000年国勢調査を基に旧5市（長崎、佐世保、諫早・大村、島原）への依存度10%以上の旧市町を追加した。なお、旧・多良見町、旧・飯盛町は長崎都市圏と県央都市圏の双方に含めた。

図表15 4都市圏の範囲

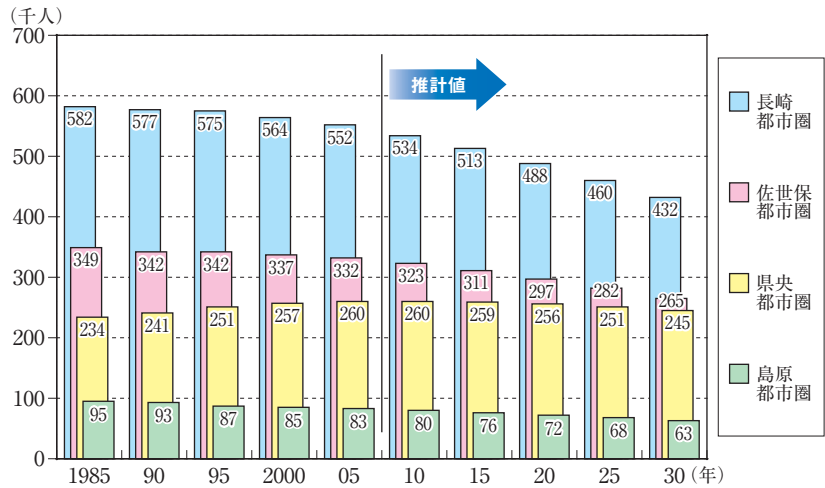
長崎都市圏	佐世保都市圏	県央都市圏	島原都市圏
新・長崎市	新・佐世保市	新・諫早市	新・島原市
時津町	旧・西彼町	大村市	旧・国見町
長与町	旧・西海町	旧・吾妻町	旧・有家町
旧・多良見町	川棚町	旧・愛野町	旧・布津町
旧・飯盛町	波佐見町	旧・千々石町	旧・深江町
	江迎町	東彼杵町	
	鹿町町		
	佐々町		

（１）都市圏の人口 — 県央都市圏は緩やかに減少 —

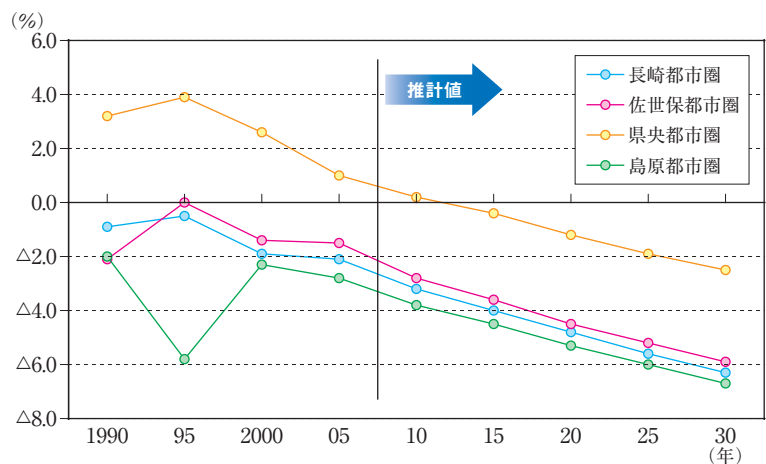
中位推計結果から都市圏別人口をみると、長崎都市圏は2005年の55.2万人から2020年に50万人を割り込み、2030年には43.2万人まで減少する。また、佐世保都市圏は2005年の33.2万人から2020年に30万人を割り込み、2030年には26.5万人となる。県央都市圏は2005年の25.97万人から2010年に0.2%増と僅かながら増加し26万人を超えるが、その後は緩やかに減少し2030年に24.5万人となる。島原都市圏は2005年の83千人から2030年には63千人に減少するとみられる。

4都市圏を比較すると、長崎、佐世保、島原の3都市圏は2005～2030年の減少率が20%強なのに対し、大村市、旧・愛野町という人口増加市町を抱える県央都市圏は5.7%の減少にとどまっており、対照的な推移が予測される。この結果、県央都市圏の人口は2030年には佐世保都市圏とほぼ肩を並べるものとみられる。

図表16 4都市圏の人口推移の予測



図表17 4都市圏の伸び率（5年毎）



図表18 都市圏別の年齢3区分人口構成

都市圏	年齢層	2005年 2010年 2015年 2020年 2025年 2030年 2030-2005年						
		(%、ポイント)						
長崎都市圏	0～14歳	14.0	13.1	12.1	11.1	10.3	9.8	△ 4.2
	15～64歳	64.3	62.6	59.0	55.9	53.8	52.0	△12.3
	65歳以上	21.6	24.3	28.9	33.0	35.8	38.2	16.6
佐世保都市圏	0～14歳	14.6	13.6	12.6	11.6	10.8	10.2	△ 4.4
	15～64歳	61.9	60.7	57.8	55.3	54.2	53.4	△ 8.5
	65歳以上	23.5	25.7	29.6	33.1	35.0	36.4	12.9
県央都市圏	0～14歳	16.1	14.9	13.8	12.9	12.2	11.6	△ 4.5
	15～64歳	63.5	62.8	60.6	58.2	56.6	55.4	△ 8.1
	65歳以上	20.4	22.3	25.7	28.9	31.2	33.0	12.6
島原都市圏	0～14歳	14.9	13.5	12.3	11.4	10.7	10.1	△ 4.8
	15～64歳	58.3	57.7	55.2	52.3	49.7	47.9	△10.4
	65歳以上	26.8	28.9	32.5	36.3	39.6	42.0	15.2

（２）都市圏の人口構成

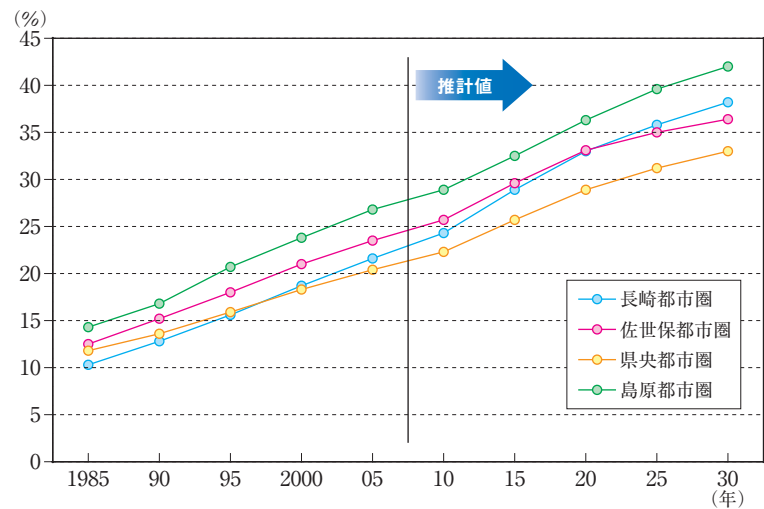
— 長崎都市圏で目立つ高齢化の進展 —

最後に各都市圏の人口構成の推移をみておこう。老年人口（65歳以上）比率は、2005年では島原都市圏が26.8%と最も高く、佐世保都市圏が23.5%、以下、長崎、県央と続いているが、

2030年には長崎都市圏が38.2%と佐世保都市圏(36.4%)を上回る。また、生産年齢人口比率については、2005年には長崎都市圏が64.3%で最も高いが、2030年には県央、佐世保両都市圏を下回るとみられる。

2005～2030年の構成比の増減をみると、長崎都市圏は生産年齢人口比率が12.3ポイント減、老年人口比率は16.6ポイント増と、ともに4地域では最も大きくなっており、年少比率が一貫して最も低いことを考えると、高年齢化の進展度合いが最も速いといえる。

図表19 65歳以上人口比率の予測



(中村 政博)

図表20 長崎県内23市町および旧79市町村の将来推計人口（中位推計）

（人）

県・市町村	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	市町村	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
長崎県	1,478,632	1,427,053	1,367,881	1,300,623	1,228,068	1,152,693							
長崎市	455,206	437,912	418,090	395,619	371,232	345,719	対馬市	38,481	35,674	32,726	29,591	26,483	23,546
長崎市	413,007	398,533	381,393	361,590	339,850	317,032	厳原町	14,417	13,242	12,021	10,801	9,642	8,532
香焼町	4,196	3,868	3,525	3,175	2,827	2,482	美津島町	8,216	8,022	7,769	7,415	6,977	6,514
伊王島町	807	643	496	385	301	229	豊玉町	4,259	3,823	3,412	2,993	2,587	2,220
高島町	722	576	465	379	307	248	峰町	2,575	2,308	2,036	1,753	1,472	1,218
野母崎町	6,809	5,668	4,687	3,842	3,137	2,555	上県町	4,092	3,703	3,316	2,920	2,544	2,198
三和町	12,044	11,717	11,386	10,982	10,470	9,817	上対馬町	4,922	4,576	4,172	3,709	3,261	2,864
外海町	5,114	4,669	4,264	3,849	3,444	3,067	杵岐市	31,414	29,205	26,940	24,579	22,261	20,059
琴海町	12,507	12,238	11,874	11,417	10,896	10,289	郷ノ浦町	11,860	11,045	10,263	9,491	8,722	7,959
佐世保市	258,262	251,386	242,516	231,738	219,743	207,057	勝本町	6,439	5,932	5,411	4,880	4,377	3,906
佐世保市	237,828	232,175	224,523	214,981	204,235	192,779	芦辺町	8,491	7,727	6,944	6,144	5,385	4,702
宇久町	3,239	2,594	2,052	1,613	1,257	975	石田町	4,624	4,501	4,322	4,064	3,777	3,492
小佐々町	6,982	6,647	6,284	5,889	5,474	5,047	雲仙市	49,998	47,509	44,922	42,215	39,434	36,699
吉井町	6,088	5,981	5,828	5,635	5,404	5,139	国見町	11,151	10,739	10,305	9,814	9,275	8,713
世知原町	4,125	3,989	3,829	3,620	3,373	3,117	瑞穂町	5,776	5,540	5,296	5,017	4,697	4,383
島原市	50,045	47,992	45,586	42,894	40,016	37,028	吾妻町	7,330	6,903	6,473	6,000	5,542	5,078
島原市	38,316	36,615	34,642	32,448	30,101	27,687	愛野町	5,191	5,506	5,769	5,962	6,101	6,244
有明町	11,729	11,377	10,944	10,446	9,915	9,341	千々石町	5,456	5,046	4,628	4,225	3,826	3,449
諫早市	144,034	142,625	140,222	136,703	132,271	127,068	小浜町	10,623	9,628	8,640	7,710	6,814	5,956
諫早市	95,937	95,783	94,814	92,986	90,533	87,500	南串山町	4,471	4,147	3,811	3,487	3,179	2,876
多良見町	16,969	16,865	16,670	16,300	15,725	15,048	南島原市	54,045	50,849	47,572	44,161	40,692	37,253
森山町	6,002	5,713	5,404	5,064	4,719	4,377	加津佐町	7,722	7,173	6,628	6,046	5,445	4,847
飯盛町	7,900	7,722	7,533	7,326	7,077	6,777	口之津町	6,286	5,691	5,081	4,488	3,908	3,356
高来町	10,801	10,437	10,044	9,630	9,192	8,711	南有馬町	5,901	5,366	4,826	4,299	3,764	3,274
小長井町	6,425	6,105	5,757	5,397	5,025	4,655	北有馬町	4,149	3,890	3,618	3,323	3,037	2,773
大村市	88,040	90,919	93,184	94,705	95,547	95,800	西有家町	8,197	7,627	7,062	6,501	5,946	5,388
平戸市	38,389	35,067	31,836	28,738	25,753	22,900	有家町	8,847	8,420	7,969	7,503	7,023	6,516
平戸市	22,277	20,579	18,900	17,246	15,624	14,026	布津町	4,715	4,385	4,048	3,724	3,416	3,100
大島村	1,521	1,253	1,028	823	655	523	深江町	8,228	8,297	8,340	8,277	8,153	7,999
生月町	7,014	6,100	5,230	4,460	3,762	3,127	西彼杵郡	71,782	71,430	70,370	68,581	66,415	64,052
田平町	7,577	7,135	6,678	6,209	5,712	5,224	長与町	42,655	41,332	39,636	37,654	35,536	33,418
松浦市	26,993	25,505	23,951	22,340	20,697	19,028	時津町	29,127	30,098	30,734	30,927	30,879	30,634
松浦市	21,221	20,254	19,203	18,085	16,915	15,695	東彼杵郡	40,182	39,221	38,075	36,662	34,981	33,128
福島町	3,202	2,981	2,781	2,583	2,377	2,161	東彼杵町	9,657	9,228	8,803	8,340	7,812	7,270
鷹島町	2,570	2,270	1,967	1,672	1,405	1,172	川棚町	15,158	14,866	14,446	13,894	13,251	12,536
五島市	44,765	40,887	37,136	33,454	29,889	26,498	波佐見町	15,367	15,127	14,826	14,428	13,918	13,322
福江市	26,311	24,717	23,015	21,218	19,376	17,560	北松浦郡	28,277	26,532	24,778	22,995	21,147	19,239
富江町	5,733	5,099	4,530	4,006	3,494	3,000	江迎町	5,922	5,498	5,045	4,601	4,173	3,745
玉之浦町	1,920	1,658	1,435	1,218	1,032	869	鹿町町	5,390	5,211	4,999	4,750	4,446	4,123
三井楽町	3,456	2,937	2,478	2,067	1,710	1,404	小値賀町	3,268	2,812	2,407	2,041	1,712	1,429
岐宿町	3,979	3,618	3,251	2,902	2,578	2,273	佐々町	13,697	13,011	12,327	11,603	10,816	9,942
奈留町	3,366	2,858	2,427	2,043	1,699	1,392	南松浦郡	25,039	22,466	19,994	17,627	15,424	13,414
西海市	33,680	31,874	29,983	28,021	26,083	24,205	新上五島町	25,039	22,466	19,994	17,627	15,424	13,414
西彼町	9,730	9,488	9,184	8,822	8,438	8,035	若松町	3,689	3,135	2,632	2,189	1,808	1,478
西海町	8,656	8,218	7,764	7,278	6,756	6,230	上五島町	6,911	6,411	5,903	5,387	4,887	4,397
大島町	5,928	5,803	5,646	5,451	5,234	5,024	新魚目町	4,645	4,274	3,900	3,511	3,131	2,773
崎戸町	2,029	1,771	1,533	1,329	1,159	1,008	有川町	6,880	6,145	5,427	4,736	4,088	3,507
大瀬戸町	7,337	6,594	5,856	5,141	4,496	3,908	奈良尾町	2,914	2,501	2,132	1,804	1,510	1,259

図表21 長崎県内23市町および旧79市町村の将来推計人口（中位推計、期間伸び率）

(%)

	05年 /00年	10年 /05年	15年 /10年	20年 /15年	25年 /20年	30年 /25年	15年 /05年	30年 /05年		05年 /00年	10年 /05年	15年 /10年	20年 /15年	25年 /20年	30年 /25年	15年 /05年	30年 /05年
長崎県	△ 2.5	△ 3.5	△ 4.1	△ 4.9	△ 5.6	△ 6.1	△ 7.5	△ 22.0									
長崎市	△ 3.2	△ 3.8	△ 4.5	△ 5.4	△ 6.2	△ 6.9	△ 8.2	△ 24.1	対馬市	△ 6.7	△ 7.3	△ 8.3	△ 9.6	△ 10.5	△ 11.1	△ 15.0	△ 38.8
長崎市	△ 2.4	△ 3.5	△ 4.3	△ 5.2	△ 6.0	△ 6.7	△ 7.7	△ 23.2	厳原町	△ 6.9	△ 8.2	△ 9.2	△ 10.1	△ 10.7	△ 11.5	△ 16.6	△ 40.8
香焼町	△ 7.0	△ 7.8	△ 8.9	△ 9.9	△ 11.0	△ 12.2	△ 16.0	△ 40.8	美津島町	△ 2.5	△ 2.4	△ 3.2	△ 4.6	△ 5.9	△ 6.6	△ 5.4	△ 20.7
伊王島町	△ 22.0	△ 20.3	△ 22.9	△ 22.4	△ 21.8	△ 23.9	△ 38.5	△ 71.6	豊玉町	△ 9.5	△ 10.2	△ 10.8	△ 12.3	△ 13.6	△ 14.2	△ 19.9	△ 47.9
高島町	△ 19.8	△ 20.2	△ 19.3	△ 18.5	△ 19.0	△ 19.2	△ 35.6	△ 65.7	峰町	△ 11.1	△ 10.4	△ 11.8	△ 13.9	△ 16.0	△ 17.3	△ 20.9	△ 52.7
野母崎町	△ 15.9	△ 16.8	△ 17.3	△ 18.0	△ 18.3	△ 18.6	△ 31.2	△ 62.5	上県町	△ 8.9	△ 9.5	△ 10.5	△ 11.9	△ 12.9	△ 13.6	△ 19.0	△ 46.3
三和町	△ 2.6	△ 2.7	△ 2.8	△ 3.5	△ 4.7	△ 6.2	△ 5.5	△ 18.5	上対馬町	△ 5.8	△ 7.0	△ 8.8	△ 11.1	△ 12.1	△ 12.2	△ 15.2	△ 41.8
外海町	△ 30.9	△ 8.7	△ 8.7	△ 9.7	△ 10.5	△ 10.9	△ 16.6	△ 40.0	老岐市	△ 6.3	△ 7.0	△ 7.8	△ 8.8	△ 9.4	△ 9.9	△ 14.2	△ 36.1
琴海町	△ 1.1	△ 2.2	△ 3.0	△ 3.8	△ 4.6	△ 5.6	△ 5.1	△ 17.7	郷ノ浦町	△ 5.9	△ 6.9	△ 7.1	△ 7.5	△ 8.1	△ 8.7	△ 13.5	△ 32.9
佐世保市	△ 1.6	△ 2.7	△ 3.5	△ 4.4	△ 5.2	△ 5.8	△ 6.1	△ 19.8	勝本町	△ 6.9	△ 7.9	△ 8.8	△ 9.8	△ 10.3	△ 10.8	△ 16.0	△ 39.3
佐世保市	△ 1.2	△ 2.4	△ 3.3	△ 4.2	△ 5.0	△ 5.6	△ 5.6	△ 18.9	芦辺町	△ 8.4	△ 9.0	△ 10.1	△ 11.5	△ 12.4	△ 12.7	△ 18.2	△ 44.6
宇久町	△ 19.2	△ 19.9	△ 20.9	△ 21.4	△ 22.1	△ 22.4	△ 36.6	△ 69.9	石田町	△ 2.7	△ 2.7	△ 4.0	△ 6.0	△ 7.1	△ 7.5	△ 6.5	△ 24.5
小佐々町	△ 4.3	△ 4.8	△ 5.5	△ 6.3	△ 7.0	△ 7.8	△ 10.0	△ 27.7	雲仙市	△ 4.3	△ 5.0	△ 5.4	△ 6.0	△ 6.6	△ 6.9	△ 10.2	△ 26.6
吉井町	△ 1.0	△ 1.8	△ 2.6	△ 3.3	△ 4.1	△ 4.9	△ 4.3	△ 15.6	国見町	△ 2.7	△ 3.7	△ 4.0	△ 4.8	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.6	△ 21.9
世知原町	△ 2.8	△ 3.3	△ 4.0	△ 5.5	△ 6.8	△ 7.6	△ 7.2	△ 24.4	瑞穂町	△ 3.7	△ 4.1	△ 4.4	△ 5.3	△ 6.4	△ 6.7	△ 8.3	△ 24.1
島原市	△ 2.9	△ 4.1	△ 5.0	△ 5.9	△ 6.7	△ 7.5	△ 8.9	△ 26.0	吾妻町	△ 5.1	△ 5.8	△ 6.2	△ 7.3	△ 7.6	△ 8.4	△ 11.7	△ 30.7
島原市	△ 3.3	△ 4.4	△ 5.4	△ 6.3	△ 7.2	△ 8.0	△ 9.6	△ 27.7	愛野町	6.7	6.1	4.8	3.3	2.3	2.3	11.1	20.3
有明町	△ 1.9	△ 3.0	△ 3.8	△ 4.6	△ 5.1	△ 5.8	△ 6.7	△ 20.4	千々石町	△ 6.2	△ 7.5	△ 8.3	△ 8.7	△ 9.4	△ 9.9	△ 15.2	△ 36.8
諫早市	△ 0.2	△ 1.0	△ 1.7	△ 2.5	△ 3.2	△ 3.9	△ 2.6	△ 11.8	小浜町	△ 8.2	△ 9.4	△ 10.3	△ 10.8	△ 11.6	△ 12.6	△ 18.7	△ 43.9
諫早市	0.8	0.2	1.0	1.9	2.6	3.4	1.2	8.8	南串山町	△ 6.8	△ 7.2	△ 8.1	△ 8.5	△ 8.8	△ 9.5	△ 14.8	△ 35.7
多良見町	△ 0.5	△ 0.6	△ 1.2	△ 2.2	△ 3.5	△ 4.3	△ 1.8	△ 11.3	南島原市	△ 5.3	△ 5.9	△ 6.4	△ 7.2	△ 7.9	△ 8.5	△ 12.0	△ 31.1
森山町	△ 4.1	△ 4.8	△ 5.4	△ 6.3	△ 6.8	△ 7.2	△ 10.0	△ 27.1	加津佐町	△ 6.6	△ 7.1	△ 7.6	△ 8.8	△ 9.9	△ 11.0	△ 14.2	△ 37.2
飯盛町	△ 1.7	△ 2.3	△ 2.4	△ 2.7	△ 3.4	△ 4.2	△ 4.6	△ 14.2	口之津町	△ 8.5	△ 9.5	△ 10.7	△ 11.7	△ 12.9	△ 14.1	△ 19.2	△ 46.6
高来町	△ 2.6	△ 3.4	△ 3.8	△ 4.1	△ 4.5	△ 5.2	△ 7.0	△ 19.4	南有馬町	△ 7.9	△ 9.1	△ 10.1	△ 10.9	△ 12.4	△ 13.0	△ 18.2	△ 44.5
小長井町	△ 3.8	△ 5.0	△ 5.7	△ 6.3	△ 6.9	△ 7.4	△ 10.4	△ 27.5	北有馬町	△ 4.8	△ 6.2	△ 7.0	△ 8.2	△ 8.6	△ 8.7	△ 12.8	△ 33.2
大村市	4.3	3.3	2.5	1.6	0.9	0.3	5.8	8.8	西有家町	△ 6.4	△ 7.0	△ 7.4	△ 7.9	△ 8.5	△ 9.4	△ 13.8	△ 34.3
平戸市	△ 7.7	△ 8.7	△ 9.2	△ 9.7	△ 10.4	△ 11.1	△ 17.1	△ 40.3	有家町	△ 3.9	△ 4.8	△ 5.4	△ 5.8	△ 6.4	△ 7.2	△ 9.9	△ 26.3
平戸市	△ 6.8	△ 7.6	△ 8.2	△ 8.8	△ 9.4	△ 10.2	△ 15.2	△ 37.0	布津町	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.7	△ 8.0	△ 8.3	△ 9.3	△ 14.1	△ 34.3
大島村	△ 14.8	△ 17.6	△ 18.0	△ 19.9	△ 20.4	△ 20.2	△ 32.4	△ 65.6	深江町	1.0	0.8	0.5	△ 0.8	△ 1.5	△ 1.9	1.4	△ 2.8
生月町	△ 11.6	△ 13.0	△ 14.3	△ 14.7	△ 15.7	△ 16.9	△ 25.4	△ 55.4	西彼杵郡	4.9	△ 0.5	△ 1.5	△ 2.5	△ 3.2	△ 3.6	△ 2.0	△ 10.8
田平町	△ 4.9	△ 5.8	△ 6.4	△ 7.0	△ 8.0	△ 8.5	△ 11.9	△ 31.1	長与町	5.7	△ 3.1	△ 4.1	△ 5.0	△ 5.6	△ 6.0	△ 7.1	△ 21.7
松浦市	△ 4.9	△ 5.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 7.4	△ 8.1	△ 11.3	△ 29.5	時津町	3.8	3.3	2.1	0.6	0.2	0.8	5.5	5.2
松浦市	△ 3.9	△ 4.6	△ 5.2	△ 5.8	△ 6.5	△ 7.2	△ 9.5	△ 26.0	東彼杵郡	△ 1.5	△ 2.4	△ 2.9	△ 3.7	△ 4.6	△ 5.3	△ 5.2	△ 17.6
福島町	△ 6.4	△ 6.9	△ 6.7	△ 7.1	△ 8.0	△ 9.1	△ 13.1	△ 32.5	東彼杵町	△ 3.7	△ 4.4	△ 4.6	△ 5.3	△ 6.3	△ 6.9	△ 8.8	△ 24.7
鷹島町	△ 10.4	△ 11.7	△ 13.3	△ 15.0	△ 16.0	△ 16.6	△ 23.5	△ 54.4	川棚町	△ 1.1	△ 1.9	△ 2.8	△ 3.8	△ 4.6	△ 5.4	△ 4.7	△ 17.3
五島市	△ 7.8	△ 8.7	△ 9.2	△ 9.9	△ 10.7	△ 11.3	△ 17.0	△ 40.8	波佐見町	△ 0.6	△ 1.6	△ 2.0	△ 2.7	△ 3.5	△ 4.3	△ 3.5	△ 13.3
福江市	△ 4.9	△ 6.1	△ 6.9	△ 7.8	△ 8.7	△ 9.4	△ 12.5	△ 33.3	北松浦郡	△ 2.4	△ 6.2	△ 6.6	△ 7.2	△ 8.0	△ 9.0	△ 12.4	△ 32.0
富江町	△ 10.4	△ 11.1	△ 11.2	△ 11.6	△ 12.8	△ 14.1	△ 21.0	△ 47.7	江迎町	△ 6.3	△ 7.2	△ 8.2	△ 8.8	△ 9.3	△ 10.3	△ 14.8	△ 36.8
玉之浦町	△ 12.6	△ 13.6	△ 13.4	△ 15.1	△ 15.3	△ 15.8	△ 25.3	△ 54.7	鹿町町	△ 2.8	△ 3.3	△ 4.1	△ 5.0	△ 6.4	△ 7.3	△ 7.3	△ 23.5
三井楽町	△ 13.8	△ 15.0	△ 15.6	△ 16.6	△ 17.3	△ 17.9	△ 28.3	△ 59.4	小値賀町	△ 13.2	△ 14.0	△ 14.4	△ 15.2	△ 16.1	△ 16.5	△ 26.3	△ 56.3
岐宿町	△ 7.7	△ 9.1	△ 10.1	△ 10.7	△ 11.2	△ 11.8	△ 18.3	△ 42.9	佐々町	2.7	△ 5.0	△ 5.3	△ 5.9	△ 6.8	△ 8.1	△ 10.0	△ 27.4
奈留町	△ 14.9	△ 15.1	△ 15.1	△ 15.8	△ 16.8	△ 18.1	△ 27.9	△ 58.6	南松浦郡	△ 9.1	△ 10.3	△ 11.0	△ 11.8	△ 12.5	△ 13.0	△ 20.1	△ 46.4
西海市	△ 4.6	△ 5.4	△ 5.9	△ 6.5	△ 6.9	△ 7.2	△ 11.0	△ 28.1	新上五島町	△ 9.1	△ 10.3	△ 11.0	△ 11.8	△ 12.5	△ 13.0	△ 20.1	△ 46.4
西彼町	△ 1.4	△ 2.5	△ 3.2	△ 3.9	△ 4.4	△ 4.8	△ 5.6	△ 17.4	若松町	△ 14.2	△ 15.0	△ 16.0	△ 16.8	△ 17.4	△ 18.3	△ 28.7	△ 59.9
西海町	△ 3.8	△ 5.1	△ 5.5	△ 6.3	△ 7.2	△ 7.8	△ 10.3	△ 28.0	上五島町	△ 6.2	△ 7.2	△ 7.9	△ 8.7	△ 9.3	△ 10.0	△ 14.6	△ 36.4
大島町	△ 2.1	△ 2.1	△ 2.7	△ 3.5	△ 4.0	△ 4.0	△ 4.8	△ 15.2	新魚目町	△ 7.0	△ 8.0	△ 8.8	△ 10.0	△ 10.8	△ 11.4	△ 16.0	△ 40.3
崎戸町	△ 12.1	△ 12.7	△ 13.4	△ 13.3	△ 12.8	△ 13.0	△ 24.4	△ 50.3	有川町	△ 9.0	△ 10.7	△ 11.7	△ 12.7	△ 13.7	△ 14.2	△ 21.1	△ 49.0
大瀬戸町	△ 8.9	△ 10.1	△ 11.2	△ 12.2	△ 12.5	△ 13.1	△ 20.2	△ 46.7	奈良尾町	△ 12.5	△ 14.2	△ 14.8	△ 15.4	△ 16.3	△ 16.6	△ 26.8	△ 56.8

図表22 長崎県の男女5歳階級別の将来推計人口と伸び率（中位推計）

（人、％）

年	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
男女計																				
2005年	64,134	72,412	79,527	81,133	71,115	78,779	90,348	84,790	88,505	97,935	114,117	116,644	90,261	89,258	88,605	75,683	51,565	27,659	16,162	1,478,632
2010年	56,034	64,567	72,091	70,545	60,831	72,306	78,487	90,102	83,803	86,938	95,969	111,659	114,933	87,020	83,282	79,014	62,101	36,897	20,474	1,427,053
2015年	49,328	56,441	64,310	63,954	52,886	61,869	72,062	78,310	89,077	82,367	85,280	94,039	110,223	111,014	81,615	75,003	65,924	45,490	28,689	1,367,881
2020年	43,721	49,693	56,182	57,059	47,959	53,784	61,667	71,896	77,421	87,578	80,858	83,682	92,964	106,714	104,430	73,966	63,392	49,327	38,330	1,300,623
2025年	38,775	44,041	49,461	49,846	42,808	48,782	53,621	61,534	71,109	76,156	86,028	79,428	82,816	90,180	100,739	94,982	63,136	48,285	46,341	1,228,068
2030年	34,521	39,064	43,845	43,894	37,398	43,539	48,620	53,502	60,861	69,949	74,831	84,555	78,680	80,465	85,408	92,053	81,517	48,834	51,157	1,152,693
男性																				
2005年	32,651	37,078	40,942	40,983	34,190	38,261	43,547	40,194	42,548	47,693	56,244	56,896	41,344	40,138	38,713	30,796	17,772	7,947	3,507	691,444
2010年	28,526	32,772	37,063	35,849	29,163	35,329	38,039	43,606	39,723	41,652	46,475	54,468	55,648	39,215	36,339	32,645	23,166	10,954	4,377	665,009
2015年	25,116	28,650	32,779	32,462	25,512	30,151	35,144	38,109	43,097	38,901	40,643	45,105	53,431	52,988	35,755	31,056	25,170	14,860	6,396	635,325
2020年	22,261	25,227	28,644	28,704	23,107	26,370	29,988	35,202	37,667	42,231	38,000	39,503	44,329	51,034	48,619	30,852	24,360	16,627	9,288	602,013
2025年	19,744	22,359	25,218	25,079	20,440	23,895	26,241	30,044	34,812	36,939	41,300	36,985	38,884	42,444	47,061	42,292	24,539	16,486	11,581	566,343
2030年	17,579	19,829	22,354	22,086	17,862	21,134	23,769	26,290	29,717	34,141	36,142	40,241	36,456	37,310	39,306	41,213	34,031	16,953	12,818	529,231
女性																				
2005年	31,483	35,334	38,585	40,150	36,925	40,518	46,801	44,596	45,957	50,242	57,873	59,748	48,917	49,120	49,892	44,887	33,793	19,712	12,655	787,188
2010年	27,508	31,795	35,028	34,696	31,668	36,977	40,448	46,496	44,080	45,286	49,494	57,191	59,285	47,805	46,943	46,369	38,935	25,943	16,097	762,044
2015年	24,212	27,791	31,531	31,492	27,374	31,718	36,918	40,201	45,980	43,466	44,637	48,934	56,792	58,026	45,860	43,947	40,754	30,630	22,293	732,556
2020年	21,460	24,466	27,538	28,355	24,852	27,414	31,679	36,694	39,754	45,347	42,858	44,179	48,635	55,680	55,811	43,114	39,032	32,700	29,042	698,610
2025年	19,031	21,682	24,243	24,767	22,368	24,887	27,380	31,490	36,297	39,217	44,728	42,443	43,932	47,736	53,678	52,690	38,597	31,799	34,760	661,725
2030年	16,942	19,235	21,491	21,808	19,536	22,405	24,851	27,212	31,144	35,808	38,689	44,314	42,224	43,155	46,102	50,840	47,486	31,881	38,339	623,462
男女計伸び率																				
2010年	△12.6	△10.8	△9.4	△13.1	△14.5	△8.2	△13.1	6.3	△5.3	△11.2	△15.9	△4.3	27.3	△2.5	△6.0	4.4	20.4	33.4	26.7	△3.5
2015年	△12.0	△12.6	△10.8	△9.3	△13.1	△14.4	△8.2	△13.1	6.3	△5.3	△11.1	△15.8	△4.1	27.6	△2.0	△5.1	6.2	23.3	40.1	△4.1
2020年	△11.4	△12.0	△12.6	△10.8	△9.3	△13.1	△14.4	△8.2	△13.1	6.3	△5.2	△11.0	△15.7	△3.9	28.0	△1.4	△3.8	8.4	33.6	△4.9
2025年	△11.3	△11.4	△12.0	△12.6	△10.7	△9.3	△13.0	△14.4	△8.2	△13.0	6.4	△5.1	△10.9	△15.5	△3.5	28.4	△0.4	△2.1	20.9	△5.6
2030年	△11.0	△11.3	△11.4	△11.9	△12.6	△10.7	△9.3	△13.1	△14.4	△8.2	△13.0	6.5	△5.0	△10.8	△15.2	△3.1	29.1	1.1	10.4	△6.1
男性伸び率																				
2010年	△12.6	△11.6	△9.5	△12.5	△14.7	△7.7	△12.6	8.5	△6.6	△12.7	△17.4	△4.3	34.6	△2.3	△6.1	6.0	30.4	37.8	24.8	△3.8
2015年	△12.0	△12.6	△11.6	△9.4	△12.5	△14.7	△7.6	△12.6	8.5	△6.6	△12.5	△17.2	△4.0	35.1	△1.6	△4.9	8.7	35.7	46.1	△4.5
2020年	△11.4	△11.9	△12.6	△11.6	△9.4	△12.5	△14.7	△7.6	△12.6	8.6	△6.5	△12.4	△17.0	△3.7	36.0	△0.7	△3.2	11.9	45.2	△5.2
2025年	△11.3	△11.4	△12.0	△12.6	△11.5	△9.4	△12.5	△14.7	△7.6	△12.5	8.7	△6.4	△12.3	△16.8	△3.2	37.1	0.7	△0.8	24.7	△5.9
2030年	△11.0	△11.3	△11.4	△11.9	△12.6	△11.6	△9.4	△12.5	△14.6	△7.6	△12.5	8.8	△6.2	△12.1	△16.5	△2.6	38.7	2.8	10.7	△6.6
女性伸び率																				
2010年	△12.6	△10.0	△9.2	△13.6	△14.2	△8.7	△13.6	4.3	△4.1	△9.9	△14.5	△4.3	21.2	△2.7	△5.9	3.3	15.2	31.6	27.2	△3.2
2015年	△12.0	△12.6	△10.0	△9.2	△13.6	△14.2	△8.7	△13.5	4.3	△4.0	△9.8	△14.4	△4.2	21.4	△2.3	△5.2	4.7	18.1	38.5	△3.9
2020年	△11.4	△12.0	△12.7	△10.0	△9.2	△13.6	△14.2	△8.7	△13.5	4.3	△4.0	△9.7	△14.4	△4.0	21.7	△1.9	△4.2	6.8	30.3	△4.6
2025年	△11.3	△11.4	△12.0	△12.7	△10.0	△9.2	△13.6	△14.2	△8.7	△13.5	4.4	△3.9	△9.7	△14.3	△3.8	22.2	△1.1	△2.8	19.7	△5.3
2030年	△11.0	△11.3	△11.4	△11.9	△12.7	△10.0	△9.2	△13.6	△14.2	△8.7	△13.5	4.4	△3.9	△9.6	△14.1	△3.5	23.0	0.3	10.3	△5.8



図表23 4都市圏の将来人口推計（中位推計）

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	15/05年	30/05年
長崎都市圏	551,857	533,929	512,663	487,826	460,449	431,596	△ 7.1	△ 21.8
新・長崎市	455,206	437,912	418,090	395,619	371,232	345,719	△ 8.2	△ 24.1
時津町	29,127	30,098	30,734	30,927	30,879	30,634	5.5	5.2
長与町	42,655	41,332	39,636	37,654	35,536	33,418	△ 7.1	△ 21.7
旧・多良見町	16,969	16,865	16,670	16,300	15,725	15,048	△ 1.8	△ 11.3
旧・飯盛町	7,900	7,722	7,533	7,326	7,077	6,777	△ 4.6	△ 14.2
佐世保都市圏	332,182	322,805	311,107	297,114	281,541	264,990	△ 6.3	△ 20.2
新・佐世保市	258,262	251,386	242,516	231,738	219,743	207,057	△ 6.1	△ 19.8
旧・西彼町	9,730	9,488	9,184	8,822	8,438	8,035	△ 5.6	△ 17.4
旧・西海町	8,656	8,218	7,764	7,278	6,756	6,230	△ 10.3	△ 28.0
川棚町	15,158	14,866	14,446	13,894	13,251	12,536	△ 4.7	△ 17.3
波佐見町	15,367	15,127	14,826	14,428	13,918	13,322	△ 3.5	△ 13.3
江迎町	5,922	5,498	5,045	4,601	4,173	3,745	△ 14.8	△ 36.8
鹿町町	5,390	5,211	4,999	4,750	4,446	4,123	△ 7.3	△ 23.5
佐々町	13,697	13,011	12,327	11,603	10,816	9,942	△ 10.0	△ 27.4
県央都市圏	259,708	260,227	259,079	255,935	251,099	244,909	△ 0.2	△ 5.7
新・諫早市	144,034	142,625	140,222	136,703	132,271	127,068	△ 2.6	△ 11.8
大村市	88,040	90,919	93,184	94,705	95,547	95,800	5.8	8.8
旧・吾妻町	7,330	6,903	6,473	6,000	5,542	5,078	△ 11.7	△ 30.7
旧・愛野町	5,191	5,506	5,769	5,962	6,101	6,244	11.1	20.3
旧・千々石町	5,456	5,046	4,628	4,225	3,826	3,449	△ 15.2	△ 36.8
東彼杵町	9,657	9,228	8,803	8,340	7,812	7,270	△ 8.8	△ 24.7
島原都市圏	82,986	79,833	76,248	72,212	67,883	63,356	△ 8.1	△ 23.7
新・島原市	50,045	47,992	45,586	42,894	40,016	37,028	△ 8.9	△ 26.0
旧・国見町	11,151	10,739	10,305	9,814	9,275	8,713	△ 7.6	△ 21.9
旧・有家町	8,847	8,420	7,969	7,503	7,023	6,516	△ 9.9	△ 26.3
旧・布津町	4,715	4,385	4,048	3,724	3,416	3,100	△ 14.1	△ 34.3
旧・深江町	8,228	8,297	8,340	8,277	8,153	7,999	1.4	△ 2.8